

## 令和3年度中国四国地方鉱山保安協議会四国部会（議事要旨）

1. 開催方法 書面開催
2. 出席者（委員）  
吉田部会長、漆原委員、大場委員、楠瀬委員、鈴木委員、曾田委員、宮地委員  
村上委員、安原委員
3. 議題（1）四国管内鉱山保安状況について  
（2）四国管内における鉱山保安監督指導について  
（3）その他
4. 配布資料 別紙一覧のとおり
5. 議事概要

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面にて開催した。  
別紙一覧の資料を各委員の方にお送りし、3. 議題（1）～（3）について意見を募った。  
各委員からの主な意見や、質問、それに対する回答は下記のとおり。

### 記

#### （1）四国管内鉱山保安状況について（資料1）

- 令和3年1月21日の事故について、ベルトコンベヤに経年劣化等の要因は無かったのか、と質問があり、ベルトコンベヤは設置から約50年が経過していたが、日常点検の結果に異常はなく、ベルトの経年劣化が火災の要因になったとは考えにくいと回答した。
- 令和3年1月21日の事故について、アダプタスリーブに弛みがあったと類推されているが、弛んでいたことは、事前に確認されていたのか、異音、異臭、振動だけで、弛みは検知できるものなのか、と質問があり、災害前日の点検では異音、異臭、振動は確認されていなかったこと、火災後は温度監視装置の導入及び係員へのセンサに関する教育を対策とすることを回答した。
- 令和3年1月21日の事故について、今後予想される南海トラフの地震のような大規模災害時には携帯電話等も利用できない場合も起こりえるので、停電時であっても山元との通信手段は確保できるのが望ましいと思われる、と意見が出た。
- 令和3年5月18日の事故について、グリス等のチェックは、どのような体制になっていたのか、と質問があり、導入時の初期設定値に間違い等があり、カバーで覆っていたため、日常点検でも確認するのが難しい状態だったこと、対策として給脂装置の見直し、目視確認しやすいカバーに変更したことを回答した。

(2) 四国管内における鉱山保安監督指導について（資料2、資料3）

・委員からの特段の意見等はなかった。

(3) その他（参考資料1、参考資料2）

・委員からの特段の意見等はなかった。

**【問い合わせ先】**

中国四国産業保安監督部四国支部 鉱山保安課（担当：阪西課長）

電 話：087-811-8591

(別紙)

令和3年度中国四国地方鉱山保安協議会四国部会 配布資料一覧

資料0-1 配布資料一覧

資料0-2 中国四国地方鉱山保安協議会四国部会委員名簿（掲載省略）

資料1 四国管内鉱山保安状況について（災害等情報の詳報は掲載省略）

資料2 令和3年度鉱山保安監督指導結果と今後の方向性について（当支部 HP に掲載済み）

資料3 令和4年度鉱山保安監督指導について（当支部 HP に掲載済み）

資料3-1 令和4年度鉱山保安監督指導について（案）

資料3-2 「鉱山保安監督指導について」前年度との対比表

参考資料1 令和3年度四国地方鉱山保安表彰式開催結果（当支部 HP に掲載済み）

参考資料2 令和3年度鉱山保安標語入選句について（当支部 HP に掲載済み）

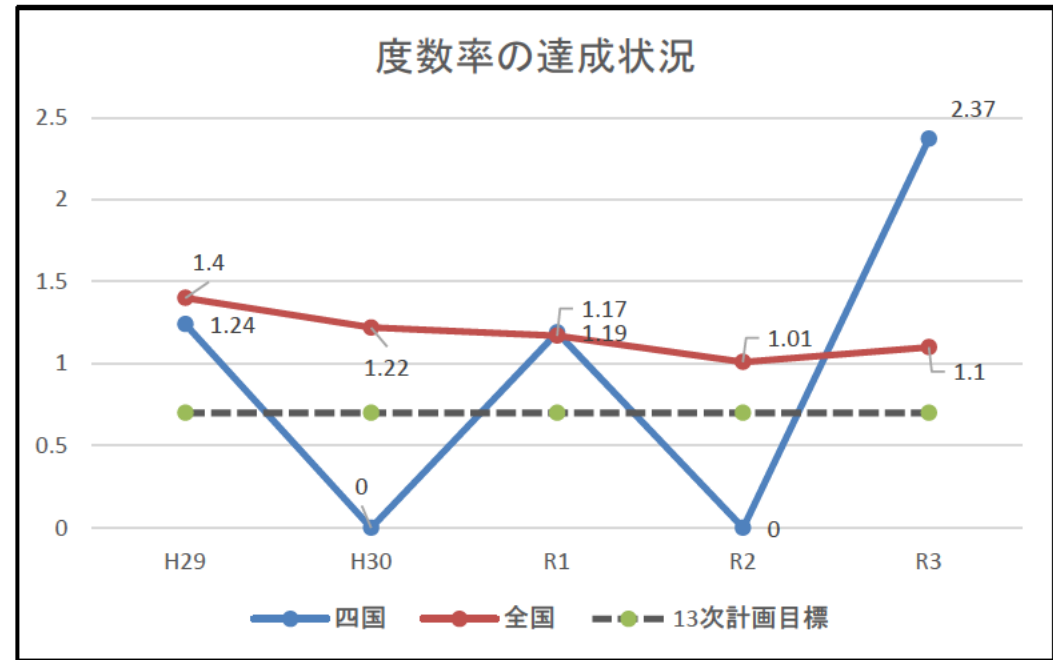
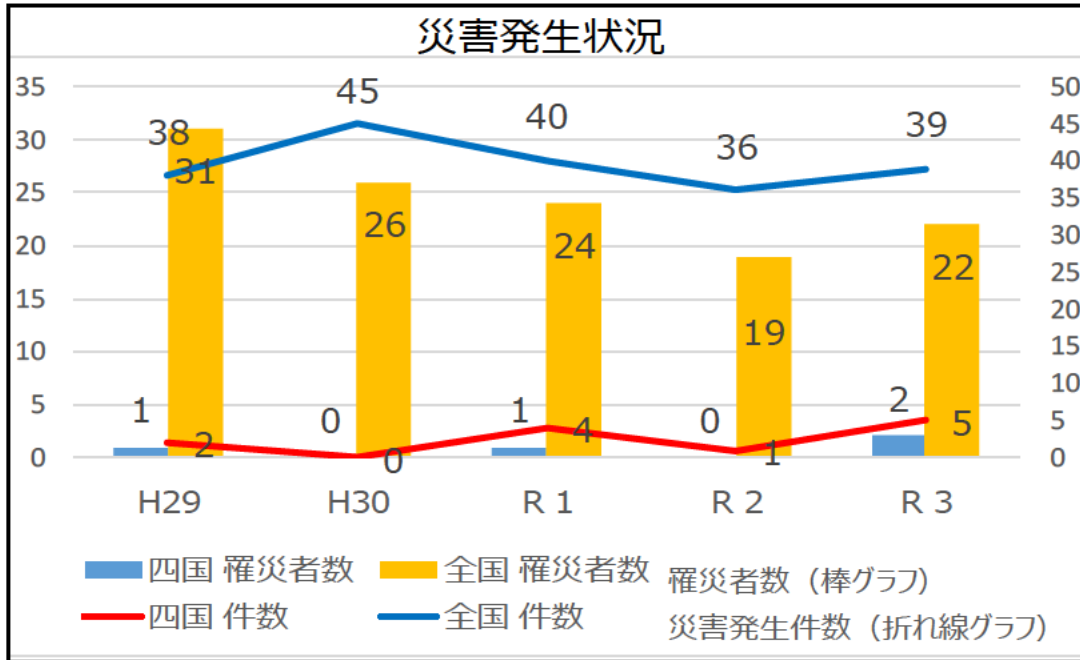
# 四国管内鉱山保安状況について

令和4年3月

中国四国産業保安監督部四国支部 鉱山保安課

# 1. 四国管内における災害発生状況について

度数率：稼働延べ100万時間当たりの罹災者数



**全国** 過去5年間で36～45件の災害が発生  
19～31名の方が罹災  
「減少傾向も見られるが、長期的には下げ止まり」

**全国** 過去5年間で1.01～1.4  
「H30年からの第13次の目標0.70は、達成できていない」

**四国** 過去5年間で0～5件の災害が発生  
0～2名の方が罹災  
「件数は少ないが、R元年の1名は死亡災害」

**四国** 過去5年間で0.0～2.37  
「軽傷以上の罹災者が1名生じると、目標を達成できない」

## 2. 2021年（令和3年）報告災害概要（1/2）

| 月日   | 鉱種  | 罹災程度  | 災害の種類 | 概要  |
|------|-----|-------|-------|---|
| 1/21 | 石灰石 | 罹災者なし | 火災    | <p>一次破砕後の長距離BC（全9基：全長約23km）中腹部のNo.5BCが蛇行を検知して停止。その後、鉱山全体が停電。同時刻頃、No.5BCの国道横断部付近から火が出ている旨の119番通報があり、消防が消火活動を行い約8時間後に鎮火した。本火災により、No.5BC及びその両端の駆動室が焼損。</p> <p>出火原因は、鎮火後の消防による実況見分及びBC機器メーカーの調査の結果、下流側駆動室内のテンションプーリー部のアダプタースリーブの弛み等によりプーリー軸の転動が進行し、温度上昇でスリーブ・軸受に割れなどの重大な損傷が発生し、損傷部分が回転の妨げとなり摩擦熱によりグリスに引火、その後コンベアベルトに引火し延焼したと推定。</p> |
| 5/18 | 石灰石 | 罹災者なし | 火災    | <p>作業員が選鉱施設の故障対応中、近傍の水洗スクリーン室から煙りと異臭を確認し、主任へ無線により連絡した。</p> <p>主任が現場に到着したところ、同施設の駆動Vベルト部から出火を確認し、施設の停止及び放水により消火を実施した。</p> <p>火災の原因は、軸受グリスが堆積し、Vベルト及びベルトプーリーに付着したため、ベルトスリップによる発火、Vベルトへ延焼したものと推定。</p>  |
| 8/20 | 石灰石 | 重傷者1名 | 墜落    | <p>ポンプ小屋に設置されたポンプ交換作業に従事していたところ、罹災者がトラックの荷台で資材搬入用のトロリー（滑車）に掛けていた電動チェーンブロックを引き寄せようと、あおり（荷台の枠）に足を掛けた際、ポンプ小屋の扉に接触していたあおりが下方へ倒れ、その勢いのまま1.2m下に墜落し、肋骨を骨折した。初診の肋骨骨折以降、外傷性血気胸、右座骨神経痛等が加わり重傷となった。</p>  |

## 2. 2021年（令和3年）報告災害概要（2/2）

| 月日    | 鉱種  | 罹災程度      | 災害の種類 | 概要  |
|-------|-----|-----------|-------|---|
| 8/26  | 石灰石 | 重傷者<br>1名 | 機械    | リクレーマー（山積みされた鉱石を回転するバケットですくい上げ、船積ベルトコンベアへ載せる機械）の点検中、バケットに傷があるように見えたことから、オペレーターにバケットの停止を指示し、停止するのを待っていたが、惰性で回転しているバケットの爪を止められるだろうと思って掴んだところ、そのままバケットに持ち上げられる形で半周し、高さ約5m位置から墜落し、肋骨等を骨折した。 |
| 10/30 | 石灰石 | 罹災者<br>なし | 火災    | せん孔作業中のダウンザホールドリルの出力が低下したため、エンジンルーム内を点検し、エンジンのON/OFFを数回行ったところ、排気パイプに取り付けているラギングカバーから出火、すぐに消火器にて消火した。火災の原因は、メーカーによる調査の結果、当該ダウンザホールドリル納品前の部品損傷が出火原因であることが判明した。                            |